Help Logout Main Meno | Search Form | Result Set | Show E Blumbers | Edit & Blumbers | Full Title Citation | Front | Review | Classification | Date | Reference | Claims | 19030 |

Document Number 25

Entry 25 of 86

File: DWPI

Oct 19, 1999

DERWENT-ACC-NO: 2000-009073

DERWENT-WEEK: 200001

COPYRIGHT 2000 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Processor of <u>electronic-mail redirector</u> - checks whether mail is from predefined list of persons and accordingly makes call to particular location defined by user

PATENT-ASSIGNEE: MATSUSHITA DENKI SANGYO KK [MATU]

PRIORITY-DATA:

1998JP-0089932

April 2, 1998

PATENT-FAMILY:

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGE PAGES MAIN-IPC
JP 11289346 A October 19, 1999 N/A 005 H04L012/54

APPLICATION-DATA:

PUB-NO APPL-DESCRIPTOR APPL-NO APPL-NO JP 11289346A April 2, 1998 1998JP-0089932 N/A

INT-CL (IPC): G06F 13/00; H04L 12/54; H04L 12/58; H04M 3/42; H04M 11/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11289346A BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The redirector receives the mail through a communication unit (11). The CPU (14) checks whether the mail is from any of the persons whose names are stored in a memory (15). If the check is true, the CPU then makes a call through the call apparatus (12) to a particular location defined by the user. Then, the speech synthesizer reads out the mail message in a tone defined previously by the user.

USE - In electronic-mail redirector.

ADVANTAGE - The user can nominate the persons whose messages have to be redirected by speech synthesis. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure depicts block diagram showing hardware

component of terminal equipment. (11) Communication unit; (12) Call apparatus; (14) CPU; (15) Memory.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/6

TITLE-TERMS: PROCESSOR ELECTRONIC MAIL CHECK MAIL PREDEFINED

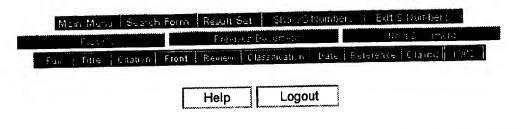
LIST PERSON ACCORD CALL LOCATE DEFINE USER

DERWENT-CLASS: T01 W01

EPI-CODES: T01-H; W01-A03B; W01-A06G2; W01-C02B; W01-C05;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-008302



(19)日本**国特許**庁(J P)

(51) Int.CL.

H04L 12/54

12/58

(12) 会開特許公報(A)

(11)特許出職公開番号

特開平11-289346

(43)公開日 平成11年(1999)10月19日

101B

351G

G 0 8 P H 0 4 M	13/00	3 5 1		3/42 11/00	3 0 3		
	11/00	308	宇在龍水	未記末	額求項の数 2	OL	(全 5 頁)
(21)出職者	,	特顧平10-89932	(7))出事人	松下電	音音要株式会社		
(22)出願日		平成10年(1998) 4月2日	(72) 発明者	増ヶ江 大阪府F	可其市大字門百 旁側 可真市大字門百 大会社内		
			(74)代聖人	、弁理士	権本 智之	(9414	B)

PΙ

HO4L 11/20

G06F 13/00

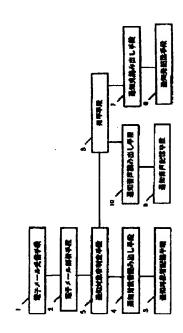
(54)【発明の名称】 幕末装置

(57)【要約】

【課題】 通知対象者からの電子メールが受信された場合にのみ、電子メールを受信したことを通知することが可能となることを目的とする。

数别配号

【解決手段】 電子メールを受信する電子メール受信手段1と、前記電子メール受信手段1により受信したメールを解析する電子メール解析手段2と、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段3と、前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者割定手段5と、ユーザの携帯電話等の通知先を記憶する通知先記憶手段6と、前記電子メール受信手段1によって受信されたメールが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者からのメールであると判断された場台に、前記通知先記憶手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段8を有する。



特闘平11-289346

(2)

【特許請求の毎囲】

【詰求項 】】電子メールを受信する電子メール受信手段 と、前記電子メール受信手段により受信したメールを解 析する電子メール解析手段と、運知対象者を記憶する通 知対象者記憶手段と、前記通知対象者記憶手段より通知 対象者を読み出す通知対象者読出し手段と、前記電子メ 一ル解析手段で解析された結果が前記通知対象者記憶手 段に記憶されているかどうか料定を行う通知対象者判定 手段と、通知先を記憶する通知先記憶手段と、前記選知 先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知先読 10 出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信され たメールが、前記通知対象者判定手段によって通知対象 者からのメールであると判断された場合に、前記通知先 記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手段 と、発酵した際にユーザに対して通知する音声を記憶す る通知音声記憶手段と、前記通知音声記憶手段に記憶さ れている音声を読み出す通知音声読出し手段とを有する ことを特徴とする端末装置。

【請求項2】電子メールを受信する電子メール受信手段 と、前記電子メール受信手段により受信したメールを解 20 析する電子メール解析手段と、違知対象者を記憶する達 知対象者記憶手段と、前記通知対象者記憶手段より通知 対象者を読み出す通知対象者読出し手段と、前記電子メ ール解析手段で解析された結果が前記通知対象者記憶手 段に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者判定 手段と、通知先を記憶する通知先記憶手段と、前記通知 先記憶手段に記憶されている道如先を読み出す通知先読 出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信され たメールが、前記通知対象者判定手段によって通知対象 者からのメールであると判断された場合に、前記通知先 30 記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手段 と、発呼した際にユーザに対して前記電子メール受信手 段が受信した電子メールの情報を音声合成して出力する 音声合成手段とを有することを特徴とする端末装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、電子メールなどを 受信可能な端末鉄壁に関するものである。

[0002]

【従来の技術】現在、市場を賑わせているパーソナルコンピュータや携帯情報端末続置には、電話やファクス等の通信機能が備わっているものが多い。逆に、電話等の端末装置には、電話としての機能だけでなく、通信機能を利用してインターネット上の情報をWorld Wide Webブラウザを用いて閲覧したり、電子メールのやり取りが可能なものまで存在している。

(1) (1) (1) そのような端末装置において、電子メール ることにより、通知して欲してを受償した場合、予めユーザによって設定された通知先 の電子メールが受信された場合に発呼して、電子メールを受償したことを通知する機能 発呼し、電子メールを受償したを有するものがあるが、通知する必要のない相手からの 50 能となるという作用を有する。

電干メールが届いた場合でも運知していた。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】このような端末鉄量では、通知して欲しい相手からの電子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して通知する手段が必要とされている。

[0005]

【課題を解決するための手段】本発明の増末装置は、電 子メールを受信する電子メール受信手段と、電子メール 受信手段により受信したメールを解析する電子メール解 析手段と、ユーザが通知して欲しい人(通知対象者)か ちのメールを受情した場合にのみ通知するようにするた め、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段と、通知 対象者記憶手段より通知対象者を読み出す通知対象者読 出し手段と、電子メール解析手段で解析された結果が運 知対象者記憶手段に記憶されているかどうか判定を行う **通知対象者判定手段と、ユーザの携帯電話等の通知先を** 記憶する運知先記憶手段と、運知先記憶手段に記憶され ている道知先を読み出す通知先験出し手段と、電子メー ル受信手段によって受信されたメールが、通知対象者判 定手段によって通知対象者からのメールであると判断さ れた場合に、通知先記憶手段に記憶されている通知先に 発呼する発呼手段と、発呼した際にユーザに対して運知 する音声を記憶する通知音声記憶手段と、通知音声記憶 手段に記憶されている音声を読み出す通知音声読出し手 段とを有する。

[0006]

【発明の実施の形態】本発明の請求項に記載の発明は、 電子メールを受信する電子メール受信手段と、前記電子 メール受信手段により受信したメールを解析する電子メ ール解析手段と、ユーザが通知して欲しい人(通知対象 者)かちのメールを受信した場合にのみ通知するように するため、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段 と、前記運知対象者記憶手段より運知対象者を読み出す 通知対象者読出し手段と、前記電子メール解析手段で解 析された結果が前記通知対象者記憶手段に記憶されてい るかどうか判定を行う通知対象者判定手段と、ユーザの 携帯電話等の通知先を記憶する通知先記憶手段と、前記 通知先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知 先読出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信 されたメールが、前記通知対象者判定手段によって通知 対象者からのメールであると判断された場合に、前記道 知先記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手 段と、発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶 する通知音声記憶手段と、前記運知音声記憶手段に記憶 されている音声を読み出す通知音声読出し手段とを有す ることにより、通知して欲しい相手(通知対象者)から の電子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して 発呼し、電子メールを受情したことを通知することが可 (3)

【0007】以下、本発明の実施の形態について、図 1 から図4を用いて説明する。

(実施の形態1)図1は、本発明の実施の形態1におけ る指末装置の概能を示す機能プロック図である。

[()()()()8]] は電子メールを受信する電子メール受信 手段、2は前記電子メール受信手段1により受信したメ ールを解析する電子メール解析手段。3はユーザが通知 して欲しい人(通知対象者)からのメールを受信した場 台にのみ適知するようにするため、通知対象者を記憶す る通知対象者記憶手段、4は前記通知対象者記憶手段3 10 より通知対象者を読み出す通知対象者聽出し手段。5は 前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知 対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者何定手段、6はユーザの携帯電話寺の通知先 を記憶する通知先記憶手段、7は前記通知先記憶手段6 に記憶されている通知先を読み出す通知先談出し手段、 8は前記電子メール受信手段1によって受信されたメー ルが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者か ちのメールであると判断された場合に、前記通知先記憶 手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段、9 は発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶する 通知音声記憶手段、10は期記通知音声記憶手段9に記 能されている音声を読み出す通知音声読出し手段であ

【1)()(19) 図2は本発明の実施の形態における端末装 遺のハードウェア構成を示す装置ブロック図である。

【0010】通信デバイス11は電子メール等の過度を 可能にするものである。発呼装置12は電話によって外 部への発呼を可能にする。リードオンリメモリ13は中 央処理装置14によって処理実行されるプログラムが格 30 納されている。ランダムアクセスメモリ15には入力装 置から設み込んだデータや、プログラムの実行によって 作成されるデータ等が格納される。

【()() 1 1 】以下、本発明の実施の形態の動作につい て、発呼にいたる制御手順を示すフローチャートである 図3をもとに説明する。

【()()12】図3は本発明の実施の形態1における端末 装置が発呼するまでの手順を示すフローチャートであ る。ステップSIでは、電子メール受信手段1によって 電子メールが受信されたかどうかの判定を行う。受信さ れた場合はステップS2に進むが、受信されなかった場 台は受信されるまで待つ。ステップS2では、ステップ S1において受信された電子メールを電子メール解析手 段2を用いて解析する。ステップS3では、通知対象者 読出し手段4を用いて、通知対象者配憶手段3から通知 対象者を読み出す。ステップ\$4では、通知対象者判定 手段5により、ステップS1で受信された電子メールが ステップS3で読み出された通知対象者からの電子メー ルであるかどうかの判定を行う。もし通知対象者からの メールであった場合はステップS5に進むが、そうでな 50 テップS10において受信された電子メールを電子メー

い場合は、ステップSIの前に戻り電子メールの受信を 待つ。ステップS5では、通知先決出し手段7を用いて 議知先記憶手段6から通知先を読み出す。ステップS6 では、ステップSSにおいて飲み出された通知先に対し て発呼を行う。ステップS7では、通知音声記憶手段9 内に記憶されている「電子メールを受信しました」等の 通知メッセージを、通知音声読出し手段 IPO を用いて読 み出す。ステップS8では、ステップS7において狭み 出された運知メッセージを出力する。

【0013】 図4は、本発明の実施の形態における端末 装置の動作例を示す図である。端末装置が電子メールを 受信し、その電子メールが通知して欲しい相手(通知対 **泉岩)からの電子メールであると相断された場合にの** 万、面線に対して発呼動作を行い、ユーザに電子メール を受信したことを通知する。

【() () 14] (実施の形態2)図5は本発明の実施の形 ※2における端末装置の機能を示す機能プロック図であ

【0015】1は電子メールを受信する電子メール受信 手段、2は前記電子メール受信手段1により受信したメ ールを解析する電子メール解析手段。 3はユーザが通知 して欲しい人(通知対象者)からのメールを受信した場 台にのみ通知するようにするため、通知対象者を記憶す る通知対象者記憶手段、4は前記運知対象者配憶手段3 より通知対象者を読み出す通知対象者読出し手段、5は 前記電子メール解析手段2で解析された結果が離記通知 対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者判定手段、6はユーザの携帯電話等の通知先 を記憶する通知先記憶手段。7は蔣記通知先記憶手段6 に記憶されている通知先を読み出す通知先験出し手段、 8は前記電子メール交信手段1によって受信されたメー ルが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者か ちのメールであると判断された場合は、前記通知先記憶 手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段、1 6は、電子メール解析手段2により解析された電子メー ル倫報を音声に変換し、電子メールの発信先、題名、内 容などを読み上げる音声合成手段である。

【0016】本発明の実施の形態2における端末鉄屋の ハードウェア構成は実施の形態1と同じであり、説明を 省略する。

【0017】以下、本発明の実施の形態2の動作につい て、発呼にいたる制御手順を示すフローチャートである 図6をもとに説明する。

【0018】図6は本発明の実施の形態2における端末 装置が発呼するまでの手順を示すフローチャートであ る。ステップS10では、電子メール受信手段1によっ て電子メールが受信されたかどうかの判定を行う。受信 された場合はステップS11に進むが、受信されなかっ た場合は受信されるまで待つ。ステップS11では、ス 20,0479/11

(4)

特闘平11-289346

6

[0019]

5.

【発明の効果】以上のように本発明によれば、権主基礎において、通知して欲しい相手(通知対象者)からの電子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して通知 20 することが可能となるという、有利な効果が得られる。
【0020】さらに、音声合成により通知してほしいユーザーからの電子メールの内容のみを出先で確認することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

[図1] 本発明の実施の形態1における端末装置の機能を示す機能ブロック図

*【図2】本発明の実施の形態における権末装置のハード ウェア権成を示す装置ブロック図

【図3】本発明の実施の形態 1 における鑑末装置が発呼 するまでの手順を示すフローチャート

【図4】本発明の実施の形態における権末装置の動作例 を示す因

【図5】本発明の実施の形態2における機束装置の機能を示す機能プロック図

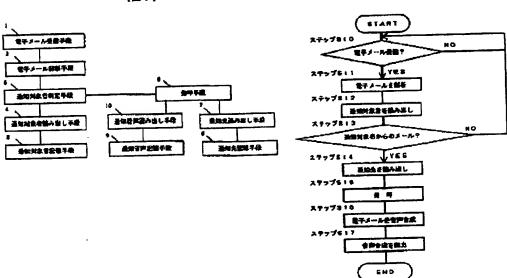
【図6】本発明の実施の形態2における進末装置が発料するまでの手順を示すフローチャート

【符号の説明】

- 1 電子メール受信手段
- 2 電子メール解析手段
- 3 通知対象者記憶手段
- 4 通知対象者設出し手段
- 5 通知対象者判定手段
- 6 通知先記憶手段
- 7 通知先狭出し手段
- 8 発酵手段
- 0 9 通知音声記憶手段
 - 10 通知音声読出し手段
 - 11 通信デバイス
 - 12 発呼装置
 - 13 リードオンリメモリ
 - 14 中央処理装置
 - 15 ランダムアクセスメモリ
 - 16 音声台成手段

[201]

[216]



(19)日本関特許庁 (JP)

(51) Int.CL*

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出職公開書号

特開平11-289346

(43)公開日 平成11年(1999)10月19日

H04L	12/54	3 5 1	HO4L 11/20		101	В	
	12/58		G06F 1	3/00	351G		
G06P	13/00		H04M	3/42			
H 0 4 M	3/42			1/00	303		
	11/00	303					
			客查請求	宋韶宋	額求項の数2	OL	(全 5 頁)
(21)出資費号 特顧平(0-89932		(71)出鹿人		21 協産業株式会社			
(22)出頭日		平成10年(1998) 4月2日		大阪部	可真市大字門真	1006番	a
,			(72)発明者	量ヶ江	秀樹		
			大阪府門真市大字門真1006番地 松下電路 産業株式会社内				
			(74)代聖人	弁理士	海本 智之	(414	各)

P I

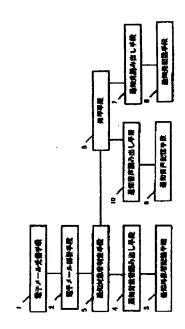
(54) 【発明の名称】 端末装置

(57)【要約】

【課題】 通知対象者からの電子メールが受信された場合にのみ、電子メールを受信したことを通知することが可能となることを目的とする。

以別配号

【解決手段】 電子メールを受信する電子メール受信手段1と、前記電子メール受信手段1により受信したメールを解析する電子メール解析手段2と、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段3と、前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者判定手段5と、ユーザの携帯電話等の通知先を記憶する通知先記憶手段6と、前記電子メール受信手段1によって受信されたメールが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者からのメールであると判断された場合に、前記通知先記憶手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段8を有する。



(2)

特別平11-289346

【特許請求の範囲】

-5.

[請求項1]電子メールを受信する電子メール受信手段 と、前記電子メール交信手段により受信したメールを解 析する電子メール解析手段と、運知対象者を記憶する通 知対象者記憶手段と、前記通知対象者記憶手段より通知 対象者を読み出す通知対象者読出し手段と、前記電子メ ール解析手段で解析された結果が剪記通知対象者記憶手 段に記憶されているかどうか料定を行う通知対象者判定 手段と、通知先を記憶する通知先記憶手段と、前記通知 先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知先読 出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信され たメールが、前記道知対象者判定手段によって通知対象 者からのメールであると判断された場合に、前記通知先 記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手段 と、発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶す る通知音声記憶手段と、前記通知音声記憶手段に記憶さ れている音声を読み出す通知音声読出し手段とを有する ことを特徴とする端末装置。

【請求項2】電子メールを受信する電子メール受信手段 と、前記電子メール受信手段により受償したメールを解 20 析する電子メール解析手段と、通知対象者を記憶する運 知対象者記憶手段と、前記通知対象者記憶手段より遺知 対象者を読み出す通知対象者読出し手段と、前記電子メ ール解析手段で解析された核果が前記通知対象者記憶手 段に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者判定 手段と、通知先を記憶する通知先記憶手段と、前記通知 先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知先読 出し手段と、萠記電子メール受信手段によって受信され たメールが、前記通知対象者判定手段によって通知対象 者からのメールであると判断された場合に、前記通知先 30 記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手段 と、発呼した際にユーザに対して前記電子メール受信手 段が受信した電子メールの情報を音声合成して出力する 音声合成手段とを有することを特徴とする鑑末装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

[発明の属する技術分野] 本発明は、電子メールなどを 受信可能な端末装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】現在、市場を賑わせているパーソナルコンピュータや携帯情報鑑末挟置には、電話やファクス等の通信観能が備わっているものが多い。逆に、電話等の端末狭置には、電話としての観能だけでなく、通信機能を利用してインターネット上の情報をWorld Whole Webブラウザを用いて閲覧したり、電子メールのやり取りが可能なものまで存在している。

[0003]そのような端末装置において、電子メール ることにより、通知して欲しいを受信した場合、予めユーザによって設定された通知先 の電子メールが受信された場合 発呼し、電子メールを受信したとを通知する機能 発呼し、電子メールを受情したを有するものがあるが、通知する必要のない相手からの 50 飽となるという作用を有する。

電子メールが届いた場合でも通知していた。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】このような端末鉄畳では、通知して欲しい相手からの電子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して通知する手段が必要とされている。

[0005]

【課題を解決するための手段】本発明の鑑末装置は、電 子メールを受信する電子メール受信手段と、電子メール 受償手段により受償したメールを解析する電子メール解 析手段と、ユーザが遺知して欲しい人(遺知対象者)か らのメールを受信した場合にのみ通知するようにするた め、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段と、通知 対象者記憶手段より通知対象者を読み出す通知対象者読 出し手段と、電子メール解析手段で解析された結果が通 知対象者記憶手段に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者判定手段と、ユーザの携帯電話等の通知先を 記憶する運知先記憶手段と、運知先記憶手段に記憶され ている通知先を読み出す通知先読出し手段と、電干メー ル受信手段によって受信されたメールが、通知対象者判 定手段によって通知対象者からのメールであると判断さ れた場合に、通知先記憶手段に記憶されている通知先に 発呼する発呼手段と、発呼した際にユーザに対して運知 する音声を記憶する遺知音声記憶手段と、通知音声記憶 手段に記憶されている音声を読み出す通知音声読出し手 段とを有する。

[0006]

【発明の実施の形態】本発明の請求項に記載の発明は、 **電子メールを受信する電子メール受信手段と、前記電子** メール受信手段により受信したメールを解析する電子メ ール解析手段と、ユーザが通知して欲しい人(通知対象 者)からのメールを受信した場合にのみ通知するように するため、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段 と、前記運知対象者記憶手段より運知対象者を読み出す 通知対象者読出し手段と、前記電子メール解析手段で解 析された結果が前記通知対象者記憶手段に記憶されてい るかどうか利定を行う通知対象者利定手段と、ユーザの 携帯電話等の通知先を記憶する通知先記憶手段と、剪記 通知先記憶手段に記憶されている運知先を読み出す通知 先読出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信 されたメールが、前記通知対象者判定手段によって運知 対象者からのメールであると判断された場合に、前記道 知光記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手 段と、発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶 する通知音声記憶手段と、前記通知音声記憶手段に記憶 されている音声を読み出す通知音声読出し手段とを有す ることにより、通知して欲しい相手(通知対象者)から の電子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して 発呼し、電子メールを受情したことを通知することが可

【1)007】以下、本発明の実施の形態について、図1 から図4を用いて説明する。

(実施の形態1)図1は、本発明の実施の形態1におけ る端末鉄畳の機能を示す機能プロック圏である。

【0008】1は電子メールを受信する電子メール受信 手段、2は前記電子メール受信手段1により受信したメ ールを解析する電子メール解析手段、3はユーザが運知 して欲しい人(通知対象者)からのメールを受信した場 台にのみ通知するようにするため、通知対象者を記憶す る通知対象者記憶手段、4は前記通知対象者記憶手段3 10 より通知対象者を読み出す通知対象者聴出し手段、5は 前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知 対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者利定手段、8はユーザの携帯電話寺の通知先 を記憶する通知先記憶手段、7は前記通知先記憶手段6 に記憶されている通知先を読み出す通知先読出し手段、 8は前記電子メール受信手段1によって受信されたメー ルが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者か ちのメールであると判断された場合に、前記違知先記憶 手段らに記憶されている適知先に発呼する発呼手段、9 は発酵した際にユーザに対して通知する音声を記憶する 通知音声記憶手段、10は削記通知音声記憶手段9に記 **徒されている音声を読み出す通知音声観出し手段であ**

【()()()()() 図2は本発明の実施の形態における端末装 畳のハードウェア構成を示す装置ブロック図である。 【0010】通信デバイス11は電子メール等の通信を 可能にするものである。発呼装置12は電話によって外 部への発呼を可能にする。リードオンリメモリ13は中 央処理装置14によって処理実行されるプログラムが格 30 納されている。ランダムアクセスメモリ15には入力装 置から読み込んだデータや、プログラムの実行によって

作成されるデータ等が格納される。 【①①11】以下、本発明の実施の形態の動作につい て、発呼にいたる制御手順を示すフローチャートである 図3をもとに説明する。

【0012】図3は本発明の実施の形態1における鑑末 装置が発呼するまでの手順を示すフローチャートであ る。ステップS1では、電子メール受信手段1によって 電子メールが受信されたかどうかの判定を行う。受信さ れた場合はステップS2に進むが、受信されなかった場 台は受信されるまで待つ。ステップS2では、ステップ S1において受信された電子メールを電子メール解析手 段2を用いて解析する。ステップS3では、通知対象者 読出し手段4を用いて、通知対象者記憶手段3から通知 対象者を読み出す。ステップS4では、通知対象者判定 手段もにより、ステップS1で受信された電子メールが ステップS3で読み出された通知対象者からの電子メー ルであるかどうかの判定を行う。もし通知対象者からの メールであった場合はステップSSに進むが、そうでな 50 テップSIOにおいて受信された電子メールを電子メー

い場合は、ステップSIの前に戻り電子メールの受信を 待つ、ステップSSでは、通知先終出し手段7を用いて 通知先記憶手段6から通知先を読み出す。ステップ\$6 では、ステップSSにおいて読み出された遺知先に対し て発呼を行う。ステップS7では、通知竜声記憶手段9 内に記憶されている「電子メールを受信をした」等の 通知メッセージを、通知音声放出し手段 110 を用いて終 み出す。ステップS8では、ステップS7において読み 出された通知メッセージを出力する。

【0013】図4は、本発明の実施の形態における維末 装置の動作例を示す図である。鑑束鉄配が電子メールを 受信し、その電子メールが通知して欲しい相手(通知対 泉岩) からの電子メールであると判断された場合にの お、回線に対して発呼動作を行い、ユーザに電子メール を受償したことを通知する。

【() () 14] (実施の形態2)図5は本発明の実施の形 ※2における端末装置の機能を示す機能プロック図であ

【0015】1は電子メールを受信する電子メール受信 手段、2は前記電子メール受信手段1により受信したメ ールを解析する電子メール解析手段。 3 はユーザが運知 して欲しい人(通知対象者)からのメールを受信した場 台にのみ通知するようにするため、通知対象者を記憶す る通知対象者記憶手段、4は前記通知対象者記憶手段3 より通知対象者を読み出す通知対象者読出し手段、5は 前記電子メール解析手段2で解析された結果が蘇記道知 対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者判定手段、6はユーザの携帯電話等の通知先 を記憶する通知先記憶手段。7は前記通知先記憶手段6 に記憶されている通知先を読み出す通知先験出し手段、 8は前記電子メール交信手段1によって受信されたメー ルが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者か ちのメールであると判断された場合に、前記通知先記憶 手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段、1 8は、電子メール解析手段2により解析された電子メー ル倫報を音声に変換し、電子メールの発信先、題名、内 容などを読み上げる音声合成手段である。

【0016】本発明の実施の形態2における端末鉄圏の ハードウェア構成は実施の形態1と同じであり、疑明を 40 省略する。

【0017】以下、本発明の実施の形態2の動作につい て、発呼にいたる制御手順を示すフローチャートである 図6をもとに説明する。

【0018】図6は本発明の実施の形態2における端末 装置が発呼するまでの手順を示すフローチャートであ る。ステップS10では、電子メール受信手段1によっ て電子メールが受信されたかどうかの料定を行う。受信 された場合はステップS11に進むが、受信されなかっ た場合は受信されるまで待つ。ステップSIIでは、ス 20,0479/1

(4)

特闘平11-289346

*【図2】本発明の実施の形態における権末装置のハード ウェア構成を示す装置ブロック図 【図3】本発明の実施の形態1における鑑末装置が発呼

するまでの手鞭を示すフローチャート

【図4】本発明の実施の形態における権末装置の動作例 を示す図

【図5】本発明の実施の形態2における維末装置の機能 を示す機能プロック図

【図6】本発明の実施の形態2における進末装置が発呼 するまでの手事を示すフローチャート

【符号の説明】

- 1 電子メール受信手段
- 電子メール解析手段
- 通知対象者記憶手段
- 通知対象者読出し手段
- 通知対象者判定手段
- 6 通知先記憶手段
- 通知先使出し手段
- 発酵手段
- 子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して通知 20 9 通知音声記憶手段
 - 10 建物音声読出し手段
 - 11 通信デバイス
 - 12 発呼装置
 - 13 リードオンリメモリ
 - 中央处理装置
 - 15 ランダムアクセスメモリ
 - 16 音声台成手段

[図1]

ル解析手段2を用いて解析する。 ステップSI2では、

通知対象者統出し手段4を用いて、通知対象者記憶手段

3から通知対象者を読み出す。ステップS 1 3では、道

知対象者判定手段5により、ステップS10で受信され

た電子メールがステップS12で読み出された通知対象

者からの電子メールであるかどうかの制定を行う。もし

通知対象者からのメールであった場合はステップS14

に進むが、そうでない場合は、ステップS10の前に戻

り電子メールの受信を待つ。ステップSI4では、遺知

先読出し手段7を用いて通知先記憶手段6から通知先を

読み出す。ステップS15では、ステップS14におい

て読み出された通知先に対して発呼を行う。ステップS 16では、電子メール解析手段2により解析された電子

メール情報を音声合成手段により音声化し、ステップS

17においてその電子メールの台成された音声を出力す

[発明の効果] 以上のように本発明によれば、権末装置

において、通知して欲しい相手(通知対象者)からの電

することが可能となるという、有利な効果が得られる。

【0020】さらに、音声合成により通知してほしいユ

ーザーからの電子メールの内容のみを出先で確認するこ

【図1】本発明の実施の形態1における端末装置の機能

5.

[0019]

とが可能となる。

【図面の簡単な説明】

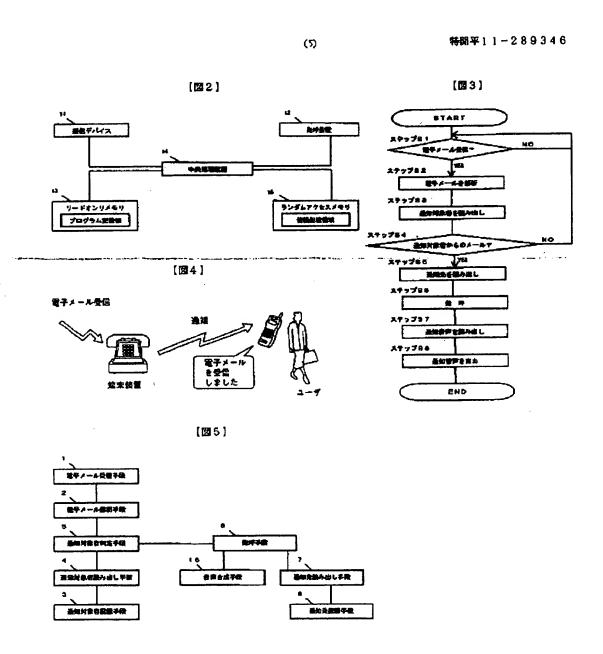
を示す機能ブロック図

セティールを含する 日本メート日本子県 97 FE **多地外水管明定手段 自由を基乃率し手袋** 湯知を共進み出し年年 当知知会会協の申し予理 ASTP ENTE **通知失智能**等級 **美恒共享官官司手**章

START HO 世界メール機関? LYES **87.4-**要用的意思を紹介出し 7213 亜亜対象をからむメール? TYES 2777814 104 6 MAHL っぱらりき **モディールを管押を求** ステップをリフ END

[216]

2/4/00 4:00 PM



THIS PAGE BLANK (USPTO)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)